

成果と課題及び指導改善のポイント

中学校社会（中学１年生、中学２年生）

中学１年生で成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆) 及び 出題の趣旨

- ◇ 資料から、アラブ首長国連邦の輸出品目と輸出額割合の変化を読み取ることができる
設問[3](2)
- ◇ 資料を基に、縄文時代と比べて、弥生時代の生活がどのように変化したのかを説明することができる
設問4
- ◆ 資料から、伝統的な料理が作られている国の都市の場所を、既存の知識を活用して読み取ることができる
設問[2](3)
- ◆ 西アジアの産油国が中心となって結成された組織がOPECであることを理解している
設問[3](1)

中学２年生で成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆) 及び 出題の趣旨

- ◇ 資料から、太陽光発電の課題を読み取ることができる
設問[2](3)
- ◇ 資料を基に、北九州市の環境への取り組みを説明することができる
設問3
- ◆ 資料から、北九州工業地域（地帯）の出荷額割合と工業生産の推移の特徴を読み取ることができる
設問[3](1)
- ◆ 享保の改革を行った人物が、徳川吉宗であることを理解している
設問[6](1)

中学校社会の課題に対応した指導改善のポイント（☑していきましょう。）

■複数の資料から必要な情報を読み取る「技能」に関する設問や、基礎的・基本的な語句を問う「知識」に関する設問に課題が見られました。これらの課題を解決するために、「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえて、授業を改善することが大切です。

□資料提示の際には、課題に対する予想を立てさせてから資料を提示するなど、課題意識を持たせた上での読み取りとなるように資料提示の仕方を工夫している。

□図表やグラフ等の資料を読み取らせる場面では、資料の基本的な読み取り方をクラス全体で確認した上で、資料から読み取った情報を解釈して説明させたり、論述させたりしている。

□自分の考えを説明させる場面では、生徒が用いている語句の意味を問い返したり、他の生徒に別の言葉で表現させたりするなど、理解を深める工夫をしている。

□振り返りの場面では、これまでに習得した知識・技能を反復して活用できるように、その単元で学習した内容を、既習の用語・語句と関連付けてまとめさせている。



正答表とセットになった「指導改善のポイントが分かる資料」も、併せてご覧ください。

集計結果 ※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準	到達状況
県	6,783	53.1	5.6	51.0	

※ 県の結果には、「未習：1なし」かつ「集計対象：1対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数 (問)	正答率		無解答率		到達基準	到達状況
				県		県		
学習指導要領の 内容・領域等	世界と日本の地域構成	4		42.8		2.6	47.5	▼
	世界各地の人々の生活と環境	2		63.5		0.8	55.0	
	世界の諸地域	3		51.7		8.2	50.0	
	私たちと歴史	1		62.2		0.5	60.0	
	古代までの日本	10		54.6		7.5	51.0	
評価の観点	知識・技能	15		56.5		3.9	56.0	
	思考・判断・表現	5		42.9		10.7	36.0	
問題形式	選択式	9		55.3		0.7	52.2	
	短答式	6		58.3		8.7	61.7	▼
	記述式	5		42.9		10.7	36.0	

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の 内容・領域等					評価の観点			問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
		世界と日本の地域構成	生活と環境	世界の諸地域	私たちと歴史	古代までの日本	知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式		県		県		
1	(1)	ブラジルが南アメリカ州に属していることを理解している	○				○			○				58.6		2.4	70	○
1	(2)	資料から、リオデジャネイロの位置と東京から見た方位を読み取ることができる	○				○			○				24.1		0.4	40	○
1	(3)	資料を基に、日本の排他的経済水域の面積が大きい理由とその利点を説明することができる	○				○				○			44.6		6.9	30	
2	(1)	資料から、日本とニューヨークの時差を読み取ることができる	○				○			○				43.9		0.6	50	○
2	(2)	熱帯、乾燥帯、亜寒帯（冷帯）の気候の特徴とそれぞれの気候帯にある主な国を理解している	○				○			○				90.1		0.5	60	
2	(3)	資料から、伝統的な料理が作られている国の都市の場所を、既存の知識を活用して読み取ることができる	○				○			○				36.9		1.1	50	○
3	(1)	西アジアの産油国が中心となって結成された組織がOPECであることを理解している		○			○				○			41.4		11.5	60	○
3	(2)	資料から、アラブ首長国連邦の輸出品目と輸出額割合の変化を読み取ることができる		○			○			○				72.2		0.7	50	
3	(3)	資料を基に、アラブ首長国連邦で外国籍の労働者が増加している理由を説明することができる		○			○				○			41.4		12.4	40	
4	(1)	世紀と西暦の関係を理解している			○		○			○				62.2		0.5	60	
4	(2)	弥生時代の特徴として、薄くて固い特徴をもつ弥生土器を用いていたことを理解している				○	○			○				65.1		0.6	60	
4	(3)	主に祭りのために使われた道具（宝物）が、銅鐸（青銅器）であることを理解している				○	○				○			52.4		14.0	50	
4	(4)	資料を基に、縄文時代と比べて、弥生時代の生活がどのように変化したのかを説明することができる				○		○				○		61.1		7.3	40	
5	(1)	家柄にとらわれず、有能な人物を役人に取り立てる制度が、冠位十二階であることを理解している				○	○				○			57.5		10.4	60	○
5	(2)	資料から、律令国家の政治・役所の仕組みの特徴を読み取ることができる				○	○			○				63.1		0.7	50	

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点			問題形式		正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
			世界と日本の地域構成	生活と環境	世界の諸地域	私たちと歴史	古代までの日本	知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式		県			
5	(3)	資料を基に、戸籍制度が天皇中心の国づくりにつながったことを説明することができる					○		○			○		26.1		15.9	30	○
6	(1)	遣唐使にともなわれて日本に渡来し、唐の仏教を伝えた人物が、鑑真であることを理解している					○		○			○		79.0		5.7	70	
6	(2)	空海が高野山金剛峯寺で真言宗を開いたことを理解している					○		○			○		40.1		1.0	50	○
6	(3)	資料を基に、遣唐使停止の理由を説明することができる					○		○			○		41.3		11.3	40	
6	(4)	遣唐使停止の影響で生まれた、日本の風土や生活に合わせた文化が、国風文化であることを理解している					○		○			○		60.7		8.1	60	

集計結果 ※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準	到達状況
県	6,848	47.8	8.9	52.4	▼

※ 県の結果には、「未習：1なし」かつ「集計対象：1対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数 (問)	正答率		無解答率		到達基準	到達 状況
				県		県		
学習指導要領の 内容・領域等	世界の諸地域	4		57.9		7.6	55.0	
	地域調査の手法	1		57.1		0.7	50.0	
	日本の地域的特色と地域区分	3		57.0		6.2	53.3	
	日本の諸地域	2		39.7		5.2	45.0	▼
	中世の日本	3		34.7		16.3	46.7	▼
	近世の日本	8		45.1		9.6	55.0	▼
評価の観点	知識・技能	16		52.0		6.3	57.5	▼
	思考・判断・表現	5		34.5		17.0	36.0	▼
問題形式	選択式	9		49.0		0.8	54.4	▼
	短答式	6		52.9		13.8	63.3	▼
	記述式	6		40.9		16.1	38.3	

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点			問題形式		正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問	
			世界の諸地域	地域調査の手法	特色と区分	日本の諸地域	中世の日本	近世の日本	知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式		県			
1	(1)	ブラジルの北部を流れ、大西洋に注ぐ川が、アマゾン川であることを理解している	○						○			○			69.4		6.3	70	○
1	(2)	資料から、1970年と2015年のブラジルの輸出品とGDPの変化の特徴を読み取ることができる	○						○			○			72.1		0.3	60	
1	(3)	資料を基に、ブラジルの森林減少に日本が関係していると考えられる理由を説明することができる	○						○			○			26.7		17.0	30	○
1	(4)	将来の社会の人たちにも、よりよい環境や資源などを残していくことのできる社会が、持続可能な社会であることを理解している	○						○			○			63.3		7.0	60	
2	(1)	日本の火力発電、水力発電、原子力発電の発電割合を理解している		○					○			○			25.4		0.4	50	○
2	(2)	太陽光など、繰り返し利用できるエネルギーが、再生可能エネルギーであることを理解している		○					○			○			72.5		6.4	60	
2	(3)	資料から、太陽光発電の課題を読み取ることができる		○					○			○			73.2		11.9	50	
3	(1)	資料から、北九州工業地域（地帯）の出荷額割合と工業生産の推移の特徴を読み取ることができる			○				○			○			29.9		0.8	50	○
3	(2)	資料から、1972年と2021年の北九州市の土地利用の変化を読み取ることができる		○					○			○			57.1		0.7	50	
3	(3)	資料を基に、北九州市の環境への取り組みを説明することができる			○				○			○			49.5		9.6	40	
4	(1)	承久の乱の概要を理解している				○			○			○			55.1		0.7	60	○
4	(2)	鎌倉幕府が御家人達を救うために出した法令が、徳政令であることを理解している				○			○			○			27.5		23.8	50	○
4	(3)	資料を基に、応仁の乱後に戦国時代へと変化した理由を説明することができる				○			○			○			21.4		24.6	30	○
5	(1)	1580年代に、豊臣秀吉が大阪城を拠点に全国統一を進めていたことを理解している					○		○			○			39.0		1.0	60	○
5	(2)	キリスト教信者となった大名が、キリシタン大名であることを理解している					○		○			○			50.5		17.0	70	○

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点			問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
			世界の諸地域	地域調査の手法	特色と区分	日本の諸地域	中世の日本	近世の日本	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式		県		県		
5	(3)	ヨーロッパ人の来航が日本の社会に与えた影響を示す資料を理解している					○		○		○				72.6		0.9	60	
5	(4)	資料を基に、江戸時代初めに、佐賀城下の南蛮寺が無くなった理由を説明することができる					○		○				○		34.0		15.0	40	○
6	(1)	享保の改革を行った人物が、徳川吉宗であることを理解している					○		○				○		34.3		22.0	70	○
6	(2)	資料から、ききんと日本の人口の関係を読み取ることができる					○		○		○				58.0		1.0	50	
6	(3)	寛政の改革と享保の改革の政策の特徴を理解している					○		○		○				31.6		1.4	50	○
6	(4)	資料を基に、江戸時代に佐賀藩の耕地面積が増加した理由を説明することができる					○		○				○		40.8		18.7	40	